



『小値賀地区小中高一貫教育地区報告会』

校長 福田 雅子

去る2月1日、小値賀の教育の柱である小中高一貫教育の今年度の取組について報告会を実施いたしました。昨年度までの10年間を一区切りとし、今年度は新たな10年のスタートの年でもあります。また次の4月から小中学校はコミュニティスクールになることもあり、今回はふるさと留学協議会やコミュニティスクール設立準備委員会の委員の皆様にもご出席いただきました。お忙しい中足を運んで頂き本当にありがとうございました。今年度実施した合同行事や各教科の実践以外にも、NIE (Newspaper in Education) の取組等について報告いたしました。

研究協議・質疑応答では、多くのご意見や感想を頂戴しました。例えば地区代表の方から養護部会の「健康課題の取組について～メディアコントロールに向けて～」の内容に関して、小値賀の児童生徒たちの視力が思っていた以上に良くないことに驚いたという感想がありました。小値賀は自然に囲まれていて視力の悪い子どもは少ないだろうと思っていたとのこと。人から借りることも含めると小値賀の児童生徒の8割がインターネットに接続できる携帯電話・スマートフォン・ゲーム機を利用しています。メディアだけが原因ではありませんが、視力の改善だけでなく自分をコントロールする力を身に付けるためにも、家庭でのルール作りには是非取り組んで頂きたいと思っております。

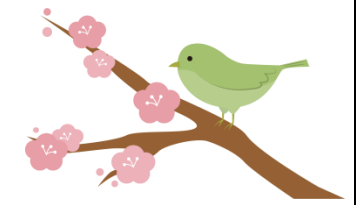
県高校教育課高島敦子先生からは指導助言の最初に、「それぞれの立場の方、いろんな世代の方がこの小中高一貫教育に関わっておられ、何より最後の質疑応答でこんなに活発な意見や質問・感想が出てくるのが素晴らしいことです。」とお話がありました。私は地域の方々のサポートに感謝すると共に、先生方の頑張りも自慢したいと思っています。生徒が自立して社会で生き抜くチカラを付けるために、私たち教職員はあれこれ試行錯誤するわけですが、例えば研究授業ウィークスでの実践やEnglish Dayの活動、そしてこの報告会に向けて発表の準備や研究集録の原稿作成と先生方は常に持てるものをすべて出し切ろうと全力投球しています。そうやって教師自身が主体的に臨む姿こそが生徒たちへの一番のメッセージではないかとも思っています。

最後に高島先生が、「【用もないのに行く、顔を出しておきたくなる場所がコミュニティだと僕は思うんです。津田大介】という言葉を受け、「コミュニティが接続する条件は人々が目的や価値観を共有することではない。「なんとなくみんな顔見知り」でかつ思いがけず面白いことが起こること。それには外の人間を迎えること、各々が自分のこだわりを他の人に「翻訳」することを楽しいと思える素地が不可欠だとジャーナリストは言う。」という驚田清一氏の折々のことば(朝日新聞1月25日付)を引用させていただきました。会場の参加者それぞれが考えさせられた言葉でした。

研究協議・質疑応答の最後に頂いたご意見の通り、私たち教職員はここ小値賀の「一人ひとりの夢の実現」という全体目標に加え、社会情勢の変化や課題に対応できる力を生徒たちが身に付けるために何が必要か考え、実践すると同時に、この小中高一貫教育のシステムを持続可能なものにしていかねばなりません。新学習指導要領への対応を始め教育改革が段階を追って実施されるなか教職員もチャレンジの日々ですが、地域の皆様にご支援いただきながら、今後も元気に前向きに取り組んでいきたいと思っています。今年度の成果と課題を踏まえて、小中学校の先生方との協働を更に進めながら、小値賀の教育を担っていきたくて考えています。

3月の行事予定

日	曜	行事予定
1日	金	第64回卒業証書授与式
3日	日	さぎジョギングフェスティバル(陸上部)
6日	水	入学者選抜学力検査、生徒休業日、部活動禁止(～7日)
8日	金	個人写真撮影
9日	土	Spring Concert2019(吹奏楽部)
12日	火	進路体験発表会
15日	金	合格者発表
20日	水	球技大会、合格者オリエンテーション
22日	金	修了式・離任式
23日	土	九州地区高等学校野球長崎大会(～4/7)



— お知らせ —

～第64回卒業証書授与式～

日時：3月1日(金) 10:00～ (保護者受付 9:20～)
 場所：本校体育館



高校生の魚さばき&郷土料理教室

1月24日(木)3年生を対象に高校生の魚さばき&郷土料理教室を実施しました。やば新の坂井さんおよびPTA、かーちゃんの会、産業振興課の方々に御指導をいただき、調理、試食、交流をおこないました。慣れない魚さばきにはじめは少し戸惑いながらも楽しく調理を行ない、シイラのフライやブリの刺身やお吸い物などを作りました。料理をしてみて、毎日料理を作ってもらっていることに対する感謝の気持ちをもった生徒も多かったようです。島を離れる生徒たちにとって、小値賀の食材に触れることは小値賀を見つめ直し、地産地消と食育についても理解を深める良い機会となりました。



魚さばきは難しいな



フライにしています



おいしく揚がるかな



完成しました



おいしくいただきます

保健指導

1月25日（金）3年生を対象に“性教育”と“食育”について保健指導を実施しました。性教育については長崎県上五島保健所 企画保健課 石橋侑子氏を、食育については小値賀町健康管理センター 管理栄養士 姫野あかね氏をお招きし講話をしていただきました。命の大切さや栄養バランスのとれた食生活など、生涯にわたる健康の保持増進への意識を高める機会となりました。

性教育テーマ：「すてきなあなたへ～大切にしよう！あなたの性～」

食育テーマ：「新生活に必要な栄養の知識」



講師の石橋先生



真剣に考える生徒



お礼の言葉



講師の姫野先生



みんなで分類



進路講演会

2月5日（火）、1・2年生を対象に進路講演会を実施しました。ベネッセコーポレーション 学校カンパニー九州支社 長崎県担当 和田 隆氏をお招きし、αコースには「第一志望合格に向けてやるべきこと」、βコースには「進路実現に向けて考えたいこと」の演題で、講話をしていただきました。

講演会では、社会がこれからどのように変化していき、どのような人材が求められるか、そのために高校生活で何を頑張るべきか、ということについて講演していただきました。生徒は、自分が今置かれている現状を知り、進路実現に向けて何をすべきか真剣に考えていました。



講師の和田先生



お礼の言葉

租税教室

2月6日（水）佐世保税務署 多田 知生氏をお招きし、「私たちの生活と財政の役割」をテーマに租税教室を実施しました。本教室は、次世代を担う生徒が国及び地方公共団体を支える税の意義や役割を正しく理解し、社会の一員として自覚を持たせることを目的として3年に1回開催されています。生徒は、税がなくなるとどうなるか考え、税が自分たちの生活を支えてくれていることを知り、納税の大切さを実感することができました。



講師の多田先生



話し合う生徒



お礼の言葉

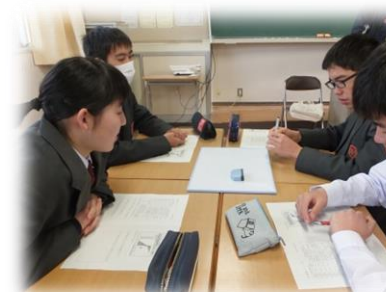
主権者教育

2月7日（木）各ホームルームにおいて主権者教育が実施されました。今回の主権者教育は、4月21日（日）に実施される統一地方選挙の啓発のため、民主主義の基本である話し合いや討論の形式で指導を行いました。

1年「若者はどうして選挙に行かないのか」、

2年「小学生に選挙に行かないといけない理由をどのように伝えたらよいだろうか」

と若年層の投票率が低下している状況で、なぜ投票率が低いのか、若者が投票に行かないとどうなるかについて学年で議論を行いました。生徒はお互いに活発に意見を出し合い議論をして主権者として声を届ける意味について理解することができました。



選挙に行くのはなぜか班で議論



発表

編集後記 松のひとりごと・・・

2月に入り、今年度も残すところあとわずかとなりました。3月は卒業式や離任式があり、様々な人がこの学校を離れていくこととなりますが、それぞれがそれぞれの場所で活躍できるようにしっかり準備をしておきたいですね。

